

学校の良さを地域の皆様と共に

副校長 小川達夫

若葉が初夏の日差しに輝く季節となりました。皆様には、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力を頂き感謝申し上げます。今年度4月に着任いたしました小学部担当副校長の小川達夫と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、間もなく梅雨入りの季節となりますが、5月は校舎周辺の新緑が鮮やかになり、高等部の生徒が作業学習で手入れをしている花壇も花いっぱい華やかさを増してきました。七生特別支援学校は、学校周辺が緑豊かで、鳥のさえずりもたくさん聞こえる自然環境に恵まれており、都心の学校では感じることもできない良さがあると改めて感じました。

本校の学校経営目標に「児童・生徒・保護者、地域関係者、教職員それぞれのウェルビーイングの向上」があります。本校の地域には、様々な地域資源があり、福祉施設をはじめ、地元自治会や近隣大学等の皆様と学校との関わりも多く、本校の児童・生徒のために多くの方に御尽力いただいています。改めまして地域の皆様の御協力に感謝申し上げます。本校の児童・生徒が将来地域で豊かに生活できることが、児童・生徒・保護者のウェルビーイングの向上につながっていきます。そのためには、今から多くの方とのふれあいを大切にして、社会参加できる力を身に付けていくことがとても大切です。学校内での基礎・基本の学習を基にして、これからも地域資源を活用させていただきながら、児童・生徒のさらなる成長を目指して教育活動の充実を図ってまいります。また、こうした地域の皆様とのふれあいを大切にする本校の教育活動が、地域関係者の皆様のウェルビーイングの向上にもつながることを願っています。

5月後半から早速、明星大学のインターンシップが始まりました。今年は6名の学生が本校でのインターンシップに参加し、特別支援学校教員になることを目指し、小学部の各学年で年間を通じて実習をいたします。この取組が、学生のみならず本校の児童にとっても、新たな学びの機会となるようにしていきます。保護者及び福祉園の職員の皆様には、今後も本校の教育活動に御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。